

平成 4 年度
大曲南中学校 ESD「学習で身に付けたい力」についてのアンケート結果

○批判的に考える力

- ① 生活や学習の場で「どうしてだろう。」「これでよいのか。」と疑問をもつ。
- ② 自分の考えを吟味し、再構築する。
- ③ 他の人の意見を聞いたり、話し合い活動をしたりすることにより、他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点がわかり、合意形成したり代替案を提案したりすることができる。

○コミュニケーションを行う力

「聞き取る力」

- ④ 相手が話しているときはその人を見て、メモを取るなどしながら話の内容を理解しようとする。
- ⑤ 相手が話しやすいように相づちを打つなどして、自分がきちんと聞いていることを伝える。
- ⑥ 相手の考えをきちんと受けとめようとして、自分の意見と比較し、共通点や相違点を考えながら聞く。
- ⑦ 相手の意見を聞き、さらに自分の考えをもう一度見直し、よりよいものにする。

「表現する力」

- ⑧ 声量、抑揚、話す速度、アイコンタクトなどに気を配りながら話す。
- ⑨ 誰に対しても自分の意見を積極的に、相手が分かるように工夫して述べる。
- ⑩ 自分の伝えたいことを、根拠と理由を示し筋道立てて伝える。

○多面的・総合的に考える力

- ⑪ 課題（物事）をメリット・デメリットの両面から見る。
- ⑫ 課題（物事）に対して、自分の意見をはっきり言ったり、他の人の意見を聞いたりする話し合い活動を通して、よりよい考えを生み出す。
- ⑬ 課題（物事）を、1つの見方だけではなく様々な視点から見て、総合的に判断する。

○課題を見つける力

- ⑭ 日頃、ニュース等の報道や世界の出来事について、興味をもったり、疑問をもったりすることがある。
- ⑮ 日常生活を送る中で、「これはどうなんだろう?」「ここが不思議だ?」と思うことがある。
- ⑯ 疑問に思ったり、不思議だと感じたりすることから、探究する課題を設定することができる。
- ⑰ 講演会や体験学習などで、進んで質問をしたり、新たな課題を発見したりする。

○発信する力

- ⑱ 調べたことを新聞やレポート、プレゼンテーション等で、分かりやすく、工夫してまとめることができる。
- ⑲ 学習したことや調べたことを、校外の人たちに発表したことがある。(集会、学習発表会、南中祭、中学生サミット、他の発表会 など)
- ⑳ 学んだことを、筋道を立てて誰でも分かるように発表することができる。

○生活に活用する力

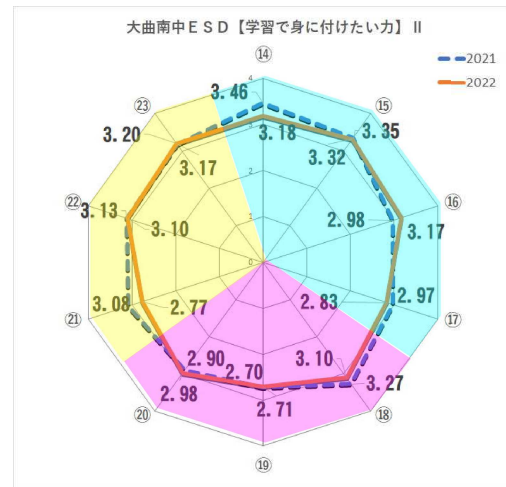
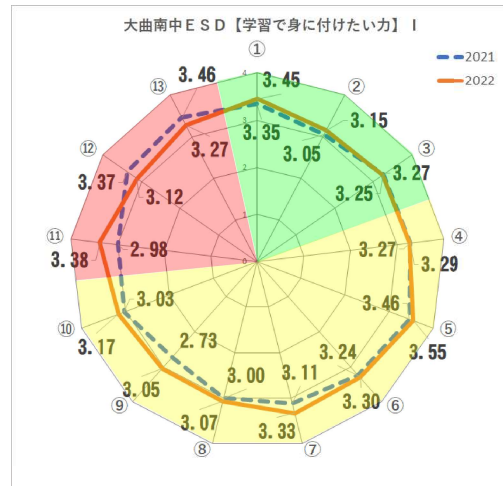
- ㉑ 学んだことから自分のとるべき行動を考え、実行している。
- ㉒ 学校や地域、市などでSDGsを意識した行動に取り組んでいる。
- ㉓ 今、自分が行っている取組は、SDGsの達成につながる。

※ 2022 資質・能力ごとの平均

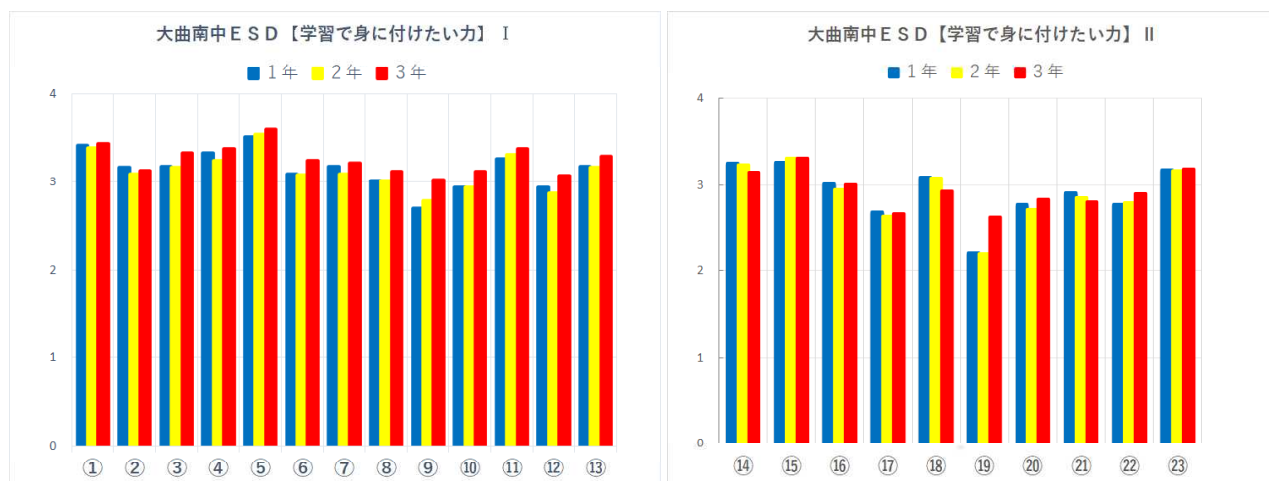
- 批判的に考える力 (①～③) … 3. 3 5
- コミュニケーションを行う力 (④～⑩) … 3. 2 9
- 多面的・総合的に考える力 (⑪～⑬) … 3. 3 3
- 課題を見つける力 (⑭～⑰) … 3. 1 2
- 発信する力 (⑱～㉑) … 2. 9 2
- 生活に活用する力 (㉒～㉓) … 3. 0 0

考察

- ・課題は「発信する力」「生活に活かす力」
- ・「⑪課題（物事）をメリット・デメリットの両面から見る。」は、昨年より大きく上がった。
- ・「⑨誰に対しても自分の意見を積極的に、相手が分かるように工夫して述べる。」も昨年より大きく上がっているが、全体と比較するとまだ低い。
- ・「㉑学んだことから自分のとるべき行動を考え、実行している。」が昨年より下がっている。行動はしているが、その質を課題と捉えている表れかも知れない。
- ・「⑫課題（物事）に対して、自分の意見をはっきり言ったり、他の人の意見を聞いたりする話



合い活動を通して、よりよい考えを生み出す。」にも課題が見られる。



- どの設問にも3年生が高い値を示している。
- 「⑱学習したことや調べたことを、校外の人たちに発表したことがある。(集会、学習発表会、南中祭、中学生サミット、他の発表会 など)」は、3年生に発信の機会が多かったことに夜ものではないか。
- 「⑨誰に対しても自分の意見を積極的に、相手が分かるように工夫して述べる。」も3年生が高い。
- 全体的に1年生が高いのは、自己肯定感が高いためか、深く考えていないか。

※大曲南中学校 ESD【学習で身に付けたい力】について

- 「批判的に考える力」は「批判する力」ではない。「代替案を提案する力」を。
- 「コミュニケーションを行う力」は、自分の考えを言うだけでは不十分。自分の考えと他人の考えを併せて考え、自分の考えを吟味する。コミュニケーションの中で、最適解を導き出す。多数決は民主主義ではない。
- 「多面的・総合的に考える力」は、各教科等の「見方・考え方」を働かせる必要がある
- 「進んで課題を見つける力」は、当事者意識を持たせることが大切。課題設定は探究の生命線。体験を踏まえた課題を設定できるよう、教師がコーディネートする。
- 「学んだことを発信する力」は、方法が一つではない。レポート、プレゼン、新聞等意外に「動画」での発信も考慮する。YouTubeでの発信もできる。
- 「生活に活用する力」は、課題が生活と結びついたものであれば、必然的に学んだことを生活に活用できるようになる。